

宮臨技学術部 研修会報告書 平成25年度 (橋本 幸男)	
研修会名	「凝固・線溶検査がわかる・スキになる」
担当分野	血液部門
開催日時・時間	2013/7/14 午後14:00～17:00
開催会場	TKP仙台カンファレンスセンター 4A
参加人数	会員42名・部門員5名・講師およびメーカー3名 合計 50 名
研修内容	情報提供：抗血栓療法～ワーファリンを中心に～ 教育講演：出血・血栓性疾患の検査・基礎と臨床
状況報告	<p>情報提供では、①抗凝固薬・抗血栓療法について②心房細動治療ガイドライン③ワーファリンの服薬指導と安全性④新しい抗凝固療法について学習した。血栓の形成過程やワーファリンの作用機序、PT-INRのコントロール領域、食品・薬剤の相互作用にも話が及んだ。新薬である抗Xa薬や抗トロンビン薬の話題にも触れ、腎機能を評価する必要性がある事も理解した。</p> <p>教育講演では「データが読めると、こんなにおもしろい」のサブテーマの基に、止血に関する内因系・外因系の基本的な役割と、異常データ（症例）を提示して頂き、考察の仕方や追加検査の考え方を学習した。異常データ報告時の医師・技師間のコンセンサスについても学習する事が出来た。医師の講演であったが、検査技師目線にたった話を聴講できた貴重な研修会であった。異常データを担当医へ報告する際には、血液担当者が統一した考え・発言が持てるよう、まとめておく事も必要だと感じる講演であった。</p>
アンケート調査から	両講演とも理解しやすかったとの意見が大多数であった。多くの症例を提示して頂いたが配布資料に無かったことが残念であったとの意見も複数見受けられた。個人情報観点からもやむを得ない結果ともいえる。